

[審査委員会特別賞] 超大画面・薄型・曲面プラズマディスプレイ「SHiPLA」



代表取締役会長兼社長
篠田 傳 氏

篠田プラズマ 株式会社

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-7

TEL. 078 (302) 1728

<http://www.shi-pla.com/>

プラズマチューブアレー（PTA）技術を用いて大画面・薄型・軽量に加え、凹凸両曲面の形成も可能にしたフィルム型ディスプレイ。重量は、従来のプラズマディスプレイ（PDP）や液晶ディスプレイ（LCD）に比べ最大3分の1、消費電力は半分以下を実現した。

PTAは、直径1mmの細長い中空ガラス細管内部に放電保護膜、蛍光体層、放電ガスを封入した発光構造を持つプラズマチューブと、赤・緑・青の三原色蛍光体を多数並べ、その背面と前面に電極形成したフィルムを貼り合わせて画面を形成する表示フィルムで構成される。原理は外部電圧を印加してプラズマを発光させるもので、細管内に材料が均一に入ることによって均一な輝度が実現できる。また、ガラス細管内にプラズマの発光原理を作り込むため、クリーンルームが不要で製造工程もコンパクトにできる。画面サイズは、1㎡を単位モジュールとし、それを縦、横方向にシームレスに繋ぐことで、大画面を容易に構成できる。最終設置場所での連結により大画面を構成するため、これまで設置できなかった高層階、狭い入口などでの大画面ディスプレイ設置もできる。

PTA方式はPDPと同様の発光原理を応用しており、自発光型の持つ明るくダイナミックな高精細映像表示、低消費電力に加え、軽量のガラス細管やフィルム電極により軽量・薄型など従来にない特徴を持つ。

